

第 12 回 昭島市公民館運営審議会記録

令和 3 年 9 月 10 日

午後 6 時 30 分～

第 1 会議室（2 階）

（出席者）山崎会長、大串副会長、星野委員、佐々木委員、宮里委員、高橋委員、三木委員
菅原委員、久保委員

（事務局）立川館長、遠藤事業係長、山本管理係長

1. 会長挨拶

2. 館長挨拶

3. 第 11 回定例会記録の確認について

特になし

4. 報告事項

①東京都公民館連絡協議会委員部会について

- ・ 8 月 25 日、第 5 回委員部会運営委員会が日野市中央公民館にて開催された。
- ・ 第 2 回都公連研究大会第 2 回企画委員会が行われた。基調講演はオンラインになる見通し。課題別集会は 9 月 15 日に開催方法を決定する。
- ・ 令和 3 年度第 1 回委員部会研修会を 9 月 11 日に日野市中央公民館にて開催予定だったが、コロナの感染状況により延期となった。延期後の日程は研究大会企画委員会の結論を受けて決定する。→委員部会を 9 月 29 日に延期。

②公民館の主催事業について

<事業報告>

- ・「JAXA 子ども科学教室」

JAXA コズミックカレッジから講師を派遣して行っている事業。

- ・「夏休みわくわく体験教室」

「オリジナル線香花火を作ろう」「わくわく科学教室」「アイスクャンディー石けんを作ろう」の 3 つの講座を開催した。

→コロナの関係もあり定員を半分にしていたが、どの事業でも定員を超える応募があった。JAXA や科学教室について「楽しみにしていた」などの声が多く、科学に興味を持っている子どもが沢山いると実感した。公民館を知ってもらうきっかけになっているのではと思う。

5. 小ホールの特例的利用について

令和4年3月の申請団体

＜団体名＞児童合唱団「つばさ」

30周年記念の発表会をコロナで出来ない代わりに、今までの活動を振り返ったDVDを作成し、会員に配りたい。

→特に異論もなく、承認された。

6. 建議書について

当面の間、建議書について感染症の中での公民館のあり方を考えていきたい。本日はパンデミックに対する皆さんの認識について話したい。

【副会長】

コロナ前の最大の感染症という結核である。70歳前後からそれ以上の年齢の人は結核という病気は死ぬ病気だとして非常に恐れてきた。薬の開発により、徐々に治る病気となってきた。結核も家庭内感染が多く、最近ではコロナでも家庭内感染が増えている。感染症は隔離をするべきものであり、家庭での治療は例外的なものでないといけない。感染症にかかってしまった人を隔離することは感染を防ぐ最大の武器であった。コロナ禍においても専門病院などの措置をとる必要があると思う。

【委員】

毎朝、学校で子どもたちに行う健康観察はドキドキする。感染症を心配しての欠席もある。感染者自体は減っているが、現在の医療体制の中でどのように自分や周りの人を守っていくのかを考え、やれることをしっかりとやっていきたいと思った。

【委員】

自分が感染をしないように、外出した際などは対策に気を使っている。実際にコロナに感染してしまった時に、どうするかという具体的な策が自分の中にできていない。感染してしまった際の対応については家族間でも話し合う必要があると感じている。

【委員】

結核というものはずっと昔の病気だと思っていたので、副会長の話を聞いて自分の生まれる10年ほど前のことだと知り、驚いた。過去に起きた結核という病気から学び、次に生かしていく必要性を感じる。

【委員】

昨年、八王子に隔離ホテルが出来たが医学的なケアが出来ておらず、本末転倒となってい

る。コロナにかかっても若い人は重症化しないケースが多いため、コロナに感染しない、人に迷惑をかけないという意識を持つことが大切である。

【委員】

自分の母も結核にかかった経験があり、死ぬ病気だという話を聞いていた。現在、誰しもがコロナに感染してしまう可能性があり、コロナに感染してしまった人への差別・いじめを恐怖に感じている。自分や自分の身の回りの人がコロナに感染してしまった時の対応を考えておくことで、差別や偏見が少なくなるのではないかと思う。

【委員】

コロナの流行が始まり、どこか他人事のように思う自分がいた。昭島市内で 100 人に 1 人がコロナに感染して来ている事実には驚いている。

最近、身近に保育園でコロナに感染した子供から家庭内感染と拡大したというケースがあった。改めて、コロナ感染を防ぐには手洗い・うがいなどの基本的な対策をしっかりとしていくしかないと考えている。

【委員】

結核は遠い過去の話であると思っていたが、ついこの前の感染症なのだと知った。隔離をすることはどの感染症の対策でも大切なことであるが、現在のコロナにおいて過去の感染症の経験を生かせていないと感じる。

【会長】

公的な機関はパンデミックに関して、これからどのような影響が出てくるのかなど感染症に関する情報を流していくべきだと思う。

本日は委員の皆さんがパンデミックに関してどのように思っているのかをフリートーク形式で話してもらった。次回は、今までの公民館とこれからの公民館でどのように変化をしていくのかを話し合っていきたい。

本日はこれで終了とする。ありがとうございました。

※次回 10 月 8 日午後 6 時 30 分から公民館第 1 会議室（2 階）で行います。